

ひまわり組通信No.3 『ひまわりくん』

令和2年7月30日

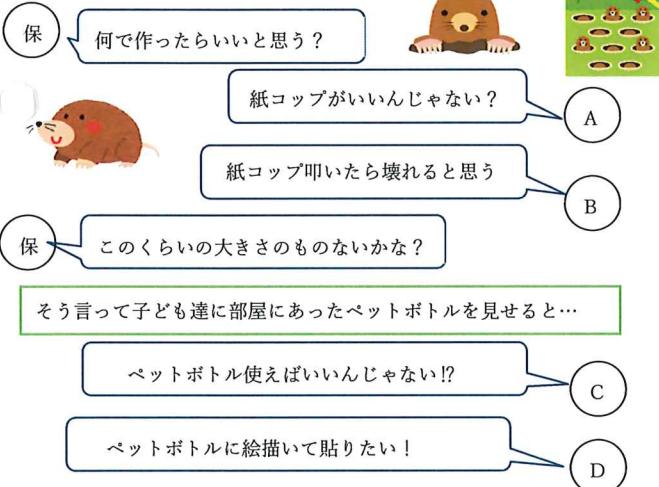


今年はコロナウィルス対策として例年のような夏まつりが開催できなくて残念に思っていたところ、子ども達から「ことし夏まつりないんか?」という声が聞かれました。そこで皆で話し合って協力して夏まつりごっこをすることとなりました。子ども達に「どんな風に夏まつりしたい?」と聞くと上手くイメージ出来なかつたよう「う~ん…」と考え込んでいる子が多く、「じゃあ去年の夏まつりどんなんやったか思い出してみよう」と提案すると「わに叩くのあった」、「ゲームあった」、「ジュースあった」と去年の思い出を沢山答えてくれました。「その中でやってみたいのある?」と尋ねると「わにのやつしたい」という声が上がり「もぐら叩きしたい」とある子が言うと他の子達も「それがいい」と満場一致でもぐら叩きゲームに決まりました。「一個だけやと寂しいな~」という声が聞かれ「じゃあ食べ物屋さんする?」という意見が出ました。本物の食べ物を売りたいという事で「本物はみんな作れるのじゃないか?」というと「あ~、そっか~」。「作れんわ~」とまた考え込み、「お化け屋敷したい」という意見と「迷路がいい」という意見が出てきました。「じゃあ二つ合わせたお化け屋敷迷路する?」と聞くと「それしたい!」と意見がまとまり、【もぐら叩き】と【おばけ迷路】を開催することに決まりました。

～夏まつりごっこのお店作りの様子～

もぐら叩き屋さん

もぐら叩き屋さんでは、まずもぐらを作る素材をどうするかを話し合って決めました。



こういった子ども達の話し合いがあり、下の写真のようなもぐらが出来上がりました。

もぐらは図鑑や絵本を参考にして
描き上げていきました!



もぐらを叩く物も作りたいという要望も出たので、子ども達と相談しながら、まずは画用紙でハリセンを作って叩いてみました。しかし、ハリセンの方が弱く壊れてしまいそうだったので、子ども達から「違う方法ないか」という声があり、園にある素材をみんなで見ました。そこで牛乳パックを見つけた子が、試してみると叩きやすく壊れにくかったので「牛乳パックでハンマー作りたい」という意見が出てみんなでハンマーも工夫して作り上げました。また「看板忘れとった」との声がありみんなで「もぐら叩き屋さんに来てください」という看板も作りました。

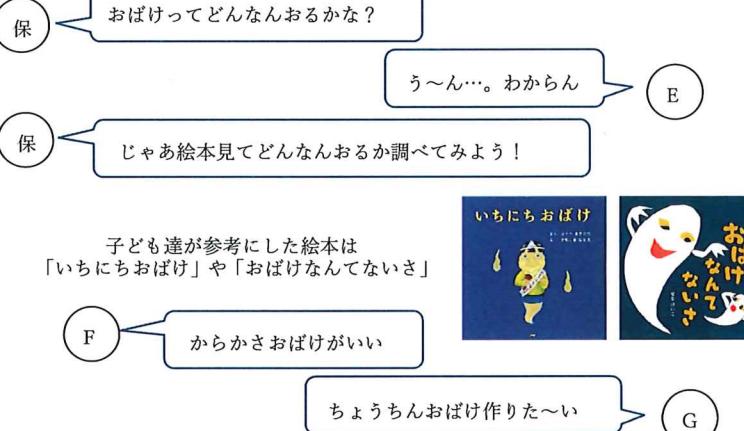


看板や各クラスに配るチラシを
作っています



おばけ迷路屋さん

おばけ迷路では、まずどんなおばけを作りたいかを話し合いました。



子ども達が参考にした絵本は
「いちにちおばけ」や「おばけなんてないさ」



子ども達のイメージが絵本によって固まってきたので、保育教諭が紙コップ、お皿、画用紙など様々な素材を用意すると自分達のイメージを具現化しようと試行錯誤したり、友達と協力して制作したりしていました。おばけが出来上がると遊びの部屋に運んで設置しました。「このおばけ怖がってくれるかな~」と言いながら色々な所に貼っていました。



ここに貼いたら怖いかな~?

「赤い手形ついとったら血みたいで怖いんじゃない?」という子ども達のアイディアから赤い手形の壁ができました。



←自分達もおばけになつてお客様驚かせたい!との声も上がったので自分達が隠れる場所を決め驚かす練習もしています。



7月に入ってから毎日のように夏まつりごっこ準備をしてきました。いよいよ来週8/3～夏まつりごっこが始まります。子ども達も指折り数えて楽しみにしている様子が見られます。友達と協力して制作しどうしたら良いものが出来るかと試行錯誤して自分たちで一から作った夏まつり、子ども達の思い出に残れば嬉しいなと思います。